

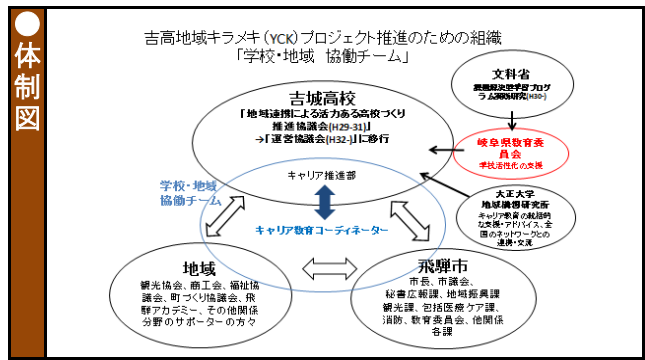
こんな活動です

# 地域が学びのフィールドだ！地域課題解決型キャリア教育「吉高地域キラメキ(YCK)プロジェクト」

|        |                      |            |
|--------|----------------------|------------|
| 岐阜県飛騨市 | ●活動名                 | ●関係する学校名   |
|        | 吉高地域キラメキ (YCK)プロジェクト | 岐阜県立古城高等学校 |

|                    |   |          |                |        |             |          |       |
|--------------------|---|----------|----------------|--------|-------------|----------|-------|
| 協働活動開始年度           | 平成 28 年度  | 関係学校数    | 1 校            | のべ学級数  | 12 学級       | のべ児童・生徒数 | 355 人 |
| 活動区分               | —   | 地域課題解決学習 |                | 地域人材育成 |             |          |       |
| 統括的な地域学校協働活動推進員等の数 | 配置人数  |          | 地域学校協働活動推進員等の数 |        | 配置人数        |          |       |
|                    | 1人  |          |                |        | 2人          |          |       |
| 学校運営協議会            | 指定・設置日  |          | ボランティアの数       | 延べ登録人数 | 企業・NPO等との連携 | 有        |       |
|                    | 平成32年4月1日設置予定   |          | —              | —      | —           |          |       |
| 参考URL              | <a href="http://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/yosiki-hs/main/yckproject/">http://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/yosiki-hs/main/yckproject/</a> |          |                |        |             |          |       |

●連絡先 岐阜県立古城高等学校 キャリア推進部 ☎ 0577-73-4555



●活動の概要・経緯

吉城高校はこれまでも地域からの要請を受け、ボランティアとして地域行事に参加してきた。これら諸活動を地域をフィールドとした生徒の学びの場であると位置付け、「地域観光」、「地域福祉」、「地域教育」、「地域防災」の4分野を柱に地域課題解決型キャリア教育として、「吉高地域キラメキ(YCK)プロジェクト」と命名(H27)、校内にキャリア推進部を設置(H28)し、その活動の充実と精選を進めてきた。さらに地域の有識者を委員とする「地域連携による活力ある高校づくり推進協議会(H29設置)」の後押しも得て、キャリア教育コーディネーターを配置(H29～)、YCKの取組を「教科」、「総合的な学習の時間」、「課外活動」、「YCKリーダー特別ミッション」の4つの方法で実社会との接点を重視した学習プログラムとして、将来社会に必要な学力の育成をめざし研究を進めている。

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

1. 「地域観光」…4月の古川祭では飛騨市観光協会と連携、2日間で「英語観光案内ボランティア」、「屋台曳ボランティア」、「清掃ボランティア」など、延べ200名の生徒が参加し、地域と一体となって盛り上げた。その他の地域行事に多くの生徒がスタッフとして参加。
2. 「地域福祉」…老人福祉施設「和光園」と交流し、年末には大掃除、花や手作りの品をプレゼントする。
3. 「地域教育」…夏休みに地域の小中学校生を対象に高校生が「学習サポート」を行う。理科科生徒が「小学生サイエンス教室」を主催、小学5・6年生を対象に科学実験の面白さを伝える。
4. 「地域防災」…「被災地の痛みを忘れない！」を合言葉に、東北地震の被災地から譲り受けたひまわりの種を地域の方々と一緒に植えて育てている。また、防災リーダーがハザードマップを使って聞き取り調査を行うなど、地域の防災に貢献している。

### 【実施に当たっての工夫】

学習メニューの精選については、キャリア教育コーディネーターを介して、地域の方々と、どのような生徒の成長や地域の活性化の姿を目指すのか、目的や目標を共有するように努めている。また、各メニューの実施に当たっては、生徒が自身で選んだ活動が彼らにとって意義ある学びの場になるように、関係する地域の方々を招いて「事前学習」を行い、地域の方々の思いを知り、自らがどのように関わり、何を得ることを期待するかを確認する。実施後は、「振り返り」を行い、どのような発見や学びがあったのか、改善点は何かなど、自身の活動を評価することを大切にしている。これら一連の学習の成果は、生徒の学びと成長の記録であるポートフォリオとして蓄積し、進路選択や進路実現に活用することを目指している。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

生徒の活動が地域の多くの方々の目に触れ、本校教育活動が理解されるようになった。YCK活動への保護者の肯定的意見が昨年度79%から85%に、生徒は85%から95%に増加した。今年度、70周年を迎えるが、同窓会をはじめ多くの支援を受けて、生徒と地域が一体となった活動に、多くの地域の方々が参加し、協力が得られるようになった。生徒は、地域の課題に目を向けるようになり、その解決のために自身の進路や学ぶ意義を考えるようになり、それが学習意欲にも反映されている。大学卒業後に地元で就職したいと考える生徒も増え、将来の地域を担う人材育成や地域活性化に少なからず貢献できていると感じる。

## ●その他

飛騨市長や市議会から積極的な支援を得られる。市長は「政治経済」で地方自治の授業をしたり、「地域の課題解決」をテーマに特別補習をした。また、飛騨市観光協会や飛騨古川青年会議所、養護老人ホーム和光園、NPO法人「思い出の絵本展」等とも連携している。



「古川祭英語観光案内ボランティア」の会場や見どころを案内する。



「老人福祉施設」などを訪問し、老人と歌やゲームなどで交流。